

横浜市青葉区民文化センター フィリアホール 令和3年度(2021年)事業報告書

1. 施設の概要	施設名	横浜市青葉区民文化センター フィリアホール
	所在地	神奈川県横浜市青葉区青葉台二丁目1番1号
	規 模	ホール:定員500席(1階384席、2階116席)
		リハーサル室:定員80名 練習室1~3:定員各10名
	延床面積	2,796.62㎡
開館日	平成5年5月1日	

2. 指定管理	法人名	東急コミュニティー・神奈川共立・横浜市民施設協会共同事業体
		代表企業:株式会社東急コミュニティー
	所在地	神奈川県横浜市青葉区青葉台二丁目1番1号
	代表者	代表企業:株式会社東急コミュニティー 代表取締役 雑賀 克英
	設立年月日	第2期指定管理期間 平成30年4月1日
	指定期間	平成30年4月1日から令和5年3月31日まで

3. 人員配置	要 員	人数	共同事業体所属会社
	館 長	1名	東急コミュニティー
	貸館業務責任者	1名	東急コミュニティー
	受付業務責任者	1名	東急コミュニティー
	管理運営責任者	1名	東急コミュニティー
	文化事業コーディネーター	1名	東急コミュニティー
	地域コーディネーター	1名	横浜市民施設協会
	会計担当者・事務担当者	2名	東急コミュニティー
	舞台管理スタッフ	3名	神 奈 川 共 立

4. 事業実績

(1)年間利用者数 56,346名 年間開館日数：346日

(2)施設利用実績 (注)利用実績には貸館及び自主共催利用を含む

施設種別	利用可能数 (コマ)	実績利用数 (コマ)	利用率 (%)	利用者数 (名)	備考・コメント
ホール	1,038	720	69.4%	37,822名	コロナ禍の影響あり 緊急事態宣言は約2カ 月。その他の月も、まん延 防止等重点措置適用又 は経過措置期間等
リハーサル室	1,730	1,404	81.2%	11,542名	
練習室1	1,730	1,381	79.8%	2,339名	
練習室2	1,730	1,393	80.5%	2,374名	
練習室3	1,730	1,265	73.1%	2,269名	
合 計	7,958	6,163	77.4%	56,346名	

(3)自主事業実施総数

区 分	開催数	来場者数	中止等	
主催公演(コンサート系)	10	4,200名	7	年度内振替後の中止もあり
主催公演(E&C系)	10	3,520名	1	海外組の来日不可
共 催 公 演	1	1,108名	7	海外組の来日不可
合 計	21	8,828名	15	

5. 委託収支状況

【収入の部】(税込) ※(注)増減:「決算」-「予算」にて算出

項目	予算額	決算額	増減	執行率
指定管理料収入	151,978,000円	151,978,000円	0円	100.0%
施設利用料収入	24,847,000円	25,042,190円	195,190円	100.8%
自主事業収入	47,990,000円	26,353,864円	△ 21,636,136円	54.9%
横浜市による運営支援		4,371,512円	4,371,512円	
その他雑収入	4,359,000円	3,123,055円	△ 1,235,945円	71.6%
合計	229,174,000円	210,868,621円	△ 18,305,379円	92.0%

【支出の部】(税抜) ※(注)増減:執行率に併せ、「予算」-「決算」にて算出

項目	予算額	決算額	増減	執行率
人件費	86,494,000円	86,494,000円	0円	100.0%
事務費	10,315,000円	8,550,219円	1,764,781円	91.4%
旅費	2,634,000円	2,009,576円	624,424円	85.5%
消耗品費	1,228,000円	1,174,564円	53,436円	76.3%
印刷製本費	705,000円	332,113円	372,887円	70.9%
通信費	2,208,000円	1,734,180円	473,820円	134.0%
備品購入費	300,000円	460,722円	△ 160,722円	40.4%
図書購入費	31,000円	20,885円	10,115円	67.4%
施設賠償保険	96,000円	43,470円	52,530円	40.1%
リース料	2,513,000円	2,525,670円	△ 12,670円	103.2%
手数料	600,000円	249,039円	350,961円	32.8%
事業費	54,246,000円	38,777,077円	15,468,923円	48.0%
管理費	56,896,000円	57,172,064円	△ 276,064円	100.3%
光熱水費	8,890,000円	9,453,094円	△ 563,094円	78.5%
清掃費	3,105,000円	3,102,000円	3,000円	98.3%
修繕費	3,000,000円	2,575,970円	424,030円	167.5%
設備保全費	3,501,000円	3,641,000円	△ 140,000円	103.0%
共益費	38,400,000円	38,400,000円	0円	100.0%
公租公課	13,026,000円	11,340,200円	1,685,800円	76.2%
消費税	12,966,000円	11,304,000円	1,662,000円	76.2%
印紙税	60,000円	36,200円	23,800円	74.7%
事務経費	8,197,000円	8,535,061円	△ 338,061円	100.3%
本部分	6,881,000円	6,881,000円	0円	100.0%
当該施設分	1,316,000円	1,654,061円	△ 338,061円	102.3%
合計	229,174,000円	210,868,621円	18,305,379円	84.9%

【収支】(税込) ※(注)増減:「予算」-「決算」にて算出

合計	0円	0円	0円
----	----	----	----

●第2期4年目(令和3年・2021年度)の基本方針 総括

令和2年度(2020年)の計画の確認

指定管理第2期4年目の事業計画では、前年度から続く「新型コロナウイルス」の感染状況が予断を許さず、施設利用への影響、自主事業を含む音楽ホールでのコンサートでの各種制限や来場者減少といった影響が継続していくという前提での事業計画とします。その上で、令和4年度は、天井脱落対策工事が控えており、指定管理2期目の実質的な最終年度との認識の上で、安定かつ積極的な事業計画を策定します。

令和4年(2022年)のホール及びホワイエの天井工事による「閉鎖(約1年間)」を告知し、一方でリハーサル室・練習室は通常通りの利用が可能である旨の周知を図ります。

(再確認) 第2期の青葉区民文化センターフィリアホールの基本コンセプト(提案企画書より抜粋)

“フィリアホール”と“青葉区民文化センター”の二つの顔で～“地域を『繋げる』フィリアホール”～

「文化発信、発表の場を提供するフィリアホールの顔」と「地域連携、協働する青葉区民文化センターの顔」の「二つの顔」を理想とし、区民文化センターに求められる役割を認識し、確実に成果を上げることを目指す。

◎フィリアホールとしての文化事業活動:提案時コンセプト

『文化事業は、「コンサート・シリーズ」と「エデュケーション&コミュニティ・プログラム」の二軸で』

「コンサート・シリーズ」は定着シリーズを継承し、高品質な芸術を提供し、地域が誇る文化発信拠点を目指す。「エデュケーション&コミュニティ・プログラム」は、本格的アカデミー系プログラムと幼児・ファミリー向けの企画や区民のニーズに沿った地域密着型企画を実施します。

◎青葉区民文化センターとしての、地域コミュニティ・文化的コモンズ形成の活動:提案時コンセプト

『文化的コモンズ形成への取り組み方針』

地域課題と向き合い、ニーズを捉え、様々なネットワークを作り、繋げて、音楽で地域を繋げる＝文化的コモンズ形成の牽引役を果たす。事業の展開とともに、地域の「協働する人財」の育成にも取り組む。

●キーワードは「ふれあう」「支える」「活動する」「集う」

◎施設運営の基本的考え方:提案時コンセプト

「人財」「施設」「収支」「情報」の4つの柱を運営の軸とし、文化発信拠点として地域の絆をつなげる役割を果たす、適切な施設運営に努めます。

◎令和3年度(2021年度)の位置付け

令和3年(2021年)は、第2期提案時とは全く前提が違う中での事業展開を考えた年度となります。今年度は、「コロナの感染防止対策徹底」を大前提として、出来るだけ通常の事業運営ができるように対応していきたい。施設ご利用の方々に協力を求めながら、「安心安全」な施設のご利用を目指します。自主文化事業は、開催可能性は予断を許さない状況の中、昨年度からの延期公演も含め、通常通りの企画実施を予定し、新たに動画配信なども考えたコロナとの共存を目標とした文化発信を定着させたい。地域事業、協働企画も、コロナとの共存を考え、動画配信やオンラインでの双方向企画等を積極的に展開するようにしたい。二つの顔の新しい姿を確立し、今後につながる青葉区民文化センターの事業運営を定めていきたい。

●鑑賞型事業「コンサートシリーズ」

昨年度からの延期振替公演と新たな公演とを組み込んで、例年通りの本数の実施を目指します。収容人数はその都度ガイドラインに沿って検証し、その中でもより多くの方々にお越しいただけるように券売数・券売方法・販促広報などを考えます。HPやSNSで、ガイドラインの徹底・フィリアホールの感染対策を周知させるようにし、コロナ禍での癒しを提供できるコンサートの実現に取り組む。集客状況によっては「収支」面で厳しい公演になることも多くなるが、「利益重視」ではなく、市民への文化の提供発信という区民文化センターの役割を優先させた事業展開としたい。

●「エデュケーション&コミュニティ・プログラム」

エデュケーションプログラムでは、アカデミー系プログラムは定番のものを中心とし、クラシックコンサートへの興味喚起となるような企画を実施します。コミュニティプログラムでは夏冬のファミリーコンサートは、コロナ共存を意識した感染対策を徹底した内容の検討を行います。ワークショップ・プチコンサートは、動画配信やオンライン形式も視野に入れ、幼児向け、子育てママへのプログラムや地域施設との協働による「地域に音楽を!!」の観点を重視した企画で、コロナ共存の中での満足度を上げるようにします。コロナ禍だからこそ地域とのつながりでも音楽を発信できるプログラムを積極的に実施したい。

●地域コミュニティ形成事業

区企画は、今年度も公募しますが、昨年からの繰り越し企画を優先し、新たな募集は時期等を検討していきます。実績を基礎に、更なる青葉区民文化センターの支援強化、区民協働型事業の発展を模索します。地域施設連携は、コロナ禍だからこそより強化充実させ、アウトリーチはもちろん、動画配信など通して、さまざまな事業協力を実施します。地域のニーズを踏まえ、それに応えて、音楽で地域を繋ぐ青葉区民文化センターとして、新たな施設も模索しながらの事業を定着させます。昨年度実施したあおば支援学校との連携事業も継続してできるようにしたい。

●施設利用・施設運営

施設利用では、コロナ共存の中、各種ガイドラインや利用時感染対策を遵守し、色々な制約の中にご利用して頂くを得ません。消毒・換気・3密対策等の徹底にご理解いただき、制約条件を遵守したうえでのご利用をお願いします。利用キャンセルへの返金等は指示に従い、直前キャンセルでの空き枠を有効利用できる方策を考えなければなりません。直前での空き枠を告知し利用につながるかを考えたいと思います。青葉公会堂の工事期間でもあり、リハーサル室・練習室利用も増加していくと思われます。はまっカードのない方達でも、一時利用登録での対応も考えます。利用申告用紙を利用して、日常的にご意見ご要望を収集するご意見欄を設けています。再度趣旨をお伝えし、より多くのご意見ご要望を受け取る努力をします。

●施設管理面

令和4年度の天井工事に向け、実施設計と共に工事計画が進行していきます。その中で、経年劣化による修繕の時期、費用等を詳細に計画し実施します。突然の不具合故障への対応は対応するとし、根本的な修繕や交換は工事期間中に行う方向で対応出来ればと思っています。光熱水費は、日常的な「節電」「節水」に心がけながら、ホールやホワイエ以外の場所のLED化等は推進していきます。

●第2期4年目(令和3年・2021年度)の事業の全体総括

◎令和3年度(2021年度)の全体概要

令和3年(2021年)も、年度の全ての時期において、「新型コロナウイルス感染対策」に縛られる年度となりました。令和3年4月20日に発せられたまん延防止等重点措置の適用期間は、延長・延長で8月1日まで続き、その翌日からは緊急事態宣言が発せられました。緊急事態宣言は9月末で解除となりました。その後は経過措置期間が年末まで続き、年明けの令和4年の1月後半からは、再びまん延防止等重点措置の適用地域となり、結果3月末まで事実上の制限期間となりました。まさにWithコロナの時代を体感する年度となり、各種感染対策実施の上で、様々な利用制限のある中での運営となり、本来できるべき運営の全てにおいて制約のある年でした。

●鑑賞型事業「コンサートシリーズ」

前年度からの延期振替公演は12本・新規8本という体制だった。海外アーティスト来日は今年度も難しい状況が続き、アカデミーの1公演を含む全10公演のうち、実に8本が中止となった。来日可否が判明してからの開催告知を基本としたため、実施公演でも、広報販促券売という点では支障が出た。国内アーティストの公演はほぼ全部開催ができ、前年からの繰越公演では、一部振替割引を実施して、購買客へのサービスを行った。次年度(R4年度)がホール休館となるので、出来るだけ開催をしたかったが、コロナ禍の影響により、施設側もお客さまも、何か物足りない不満足な結果で終わってしまった。

●「エデュケーション&コミュニティ・プログラム」

エデュケーションプログラムでは、アカデミー系プログラムは定番のものを中心とし、クラシックコンサートへの興味喚起となるような企画を実施します。コミュニティプログラムでは夏冬のファミリーコンサートは、コロナ共存を意識した感染対策を徹底した内容の検討を行います。ワークショップ・プチコンサートは、動画配信やオンライン形式も視野に入れ、幼児向け、子育てママへのプログラムや地域施設との協働による「地域に音楽を!!」の観点を重視した企画で、コロナ共存の中での満足度を上げるようにします。コロナ禍だからこそ地域とのつながりで音楽を発信できるプログラムを積極的に実施したい。

●地域コミュニティ形成事業

区民企画は、今年度も公募しますが、昨年からの繰り越し企画を優先し、新たな募集は時期等を検討していきます。実績を基礎に、更なる青葉区民文化センターの支援強化、区民協働型事業の発展を模索します。地域施設連携は、コロナ禍だからこそより強化充実させ、アウトリーチはもちろん、動画配信など通して、さまざまな事業協力を実施します。地域のニーズを踏まえ、それに応えて、音楽で地域を繋ぐ青葉区民文化センターとして、新たな施設も模索しながらの事業を定着させます。昨年度実施したあおば支援学校との連携事業も継続してできるようにしたい。

●施設利用・施設運営

施設利用では、コロナ共存の中、各種ガイドラインや利用時感染対策を遵守し、色々な制約の中でご利用をして頂くざるを得ません。消毒・換気・3密対策等の徹底にご理解いただき、制約条件を遵守したうえでのご利用をお願いします。利用キャンセルへの返金等は指示に従い、直前キャンセルでの空き枠を有効利用できる方策を考えなければなりません。直前での空き枠を告知し利用につなげるかを考えたいと思います。青葉公会堂の工事期間でもあり、リハーサル室・練習室利用も増加していくと思われます。はまっこカードのない方達でも、一時利用登録での対応も考えます。利用申告用紙を利用して、日常的にご意見ご要望を収集するご意見欄を設けています。再度趣旨をお伝えし、より多くのご意見ご要望を受け取る努力をします。

●施設管理面

令和4年度の天井工事に向け、実施設計と共に工事計画が進行していきます。その中で、経年劣化による修繕の時期、費用等を詳細に計画し実施します。突然の不具合故障への対応は対応するとし、根本的な修繕や交換は工事期間中に行う方向で対応出来ればと思っています。光熱水費は、日常的な「節電」「節水」に心がけながら、ホールやホワイエ以外の場所のLED化等は推進していきます。

令和3年度(2021年度)文化事業 報告総括

I. 令和3年度文化事業の活動の確認

1. 文化事業活動の基本方針

今年度も、フィリアホール「顔」となる、上質な音楽発信と地域密着型企画を展開。上質な音楽文化を届ける「コンサート・シリーズ」ではコロナ禍での感染対策や入場者への注意喚起などを徹底したうえで、地域に「生の音」の素晴らしさを感じていただけるコンサートをお届けする。「エデュケーション&コミュニティ」では、アカデミー・プログラム、ファミリー向け企画のブラッシュアップを図り、コロナ禍の中でもが安心して音楽を楽しんでいただける企画を実施。

2. コン서트・シリーズ

コンサートシリーズでは、各種媒体を活用した広範囲の販促告知、加えてクラシック音楽へのハードルを高く感じている層を含めた幅広い顧客向けに、会報誌などを通してアプローチしていきます。昨年度からの延期振替公演が多く、シリーズの本数も例年とは大きく異なる年度になります。またコロナ禍の状況によっては来日等で中止となる可能性のある中での事業運営となります。

○2021年度の主なシリーズの概要

《女神との出逢い》シリーズ

昨年から延期振替は、南紫音(Vn)、三浦友理枝(Pf)、アンヌ・ケフェレック(Pf)の3公演。仲道郁代(Pf)のシューマンシリーズ。海外からキアロスケーロ・カルテット(SQ)。諏訪内晶子(Vn)は久々に無伴奏で登場。吉野直子(Hp)で締めくくり。公演本数の調整で、例年より1つ少ない7公演で予定。若手からベテランまで人気・実力を兼ね備えた世界的アーティストが出演します。

《ランチシリーズ》は、毎年6公演開催のところ、今年度は3公演に集約。いずれも昨年度からの延期振替。川口成彦(フォルテピアノ)、マルツィン・ディラ(ギター)、そして2年越し開催となる岡本侑也(チェロ)。多彩なジャンルで楽しさを感じられる内容に。

《ハイムコンツェルトシリーズ》は、昨年度からの振替1本と新規2本を予定。フォーレ四重奏団は振替。ベルチャ四重奏団は初登場。現代弦楽四重奏団の最高峰、ハーゲン・クアルテットが13年ぶりにホールに登場。

《ニューイヤーコンサート》でN響メンバーによる室内オーケストラと共演するのは、川久保陽紀(ヴァイオリン)、藤田真央(ピアノ)。二人との饗宴で、新たな年明けにモーツァルトをお送りします。

《トーク&コンサート》シリーズ「マイフィールド《私の人生・私の音楽》」では、一昨年度からの振替で館野泉が出演。昨年実施ができなかった「神奈川フィルの名手による室内楽シリーズ」も、今年度は例年通り自主と共催で1公演を実施する予定。

《特別企画》は、昨年度からの延期繰越を2本と新規企画を1本予定。区制記念で予定し繰り延べが続いた千住真理子(Vn)イザイ無伴奏作品全曲演奏会。アイルランド発のケルティック・コーラスグループ:アヌーナ、フラメンコギターのカニサレスを予定します。

3. エデュケーション&コミュニティ・プログラム

一流奏者によるプロデュース/マスタークラス企画を主軸にした「ミュージックアカデミー・プログラム」、お子様と家族向けの「キッズ&ファミリー・プログラム」、そして「地域コミュニティ・プログラム」3つの軸をベースにプログラムを実施します。音楽を通じた文化的なコミュニティ形成につながる企画を行います。

○2021年度の主なシリーズの概要

「ミュージックアカデミー・プログラム」は定番、指揮者・広上淳一氏による東京音大指揮科生徒との公開講座、チェリスト・山崎伸子氏のプロデュース企画、昨年から延期となるブルーオーロラ・サクソフォンカルテットによるコンサート&マスタークラス、若手音楽家の発掘育成を視野に入れたフィリアホール室内楽アカデミア(未来にはばたくドリームコンサート)の4本を予定。

「キッズ&ファミリー・プログラム」では、「プチ・コンサート」やワークショップ、夏と冬のファミリーコンサートを主軸に予定。「コロナ禍」対策が最も課題となる企画として、万全の態勢と内容を吟味し、安全を確保した上で楽しく喜ばれる企画を展開します。こどもの感性を育てる機会を提供し、保護者層にも思い出になる時間を提供してきました。若手アーティストを起用し発表の場として活用し、動画配信なども検討して、「コロナ禍」ならではの企画を検討していきます。

「地域コミュニティ・プログラム」では、協働型企画として区民提案型企画を今年度も公募します。区民が立案・実施する地域のニーズや課題を意識した地域密着型企画として発展充実させ、地域との協働・地域人財の育成プログラム展開を図りたいと思います。

「フィリア・ジュニア合唱団」は、運営委員の活動も定着し「区民によって企画運営する」活動としてサポート。感染防止策を徹底した形で活動を行います。合唱を通して、居場所づくりや仲間づくり、達成感を感じてもらえる合唱団にしていきたいと考えます。

「横浜市芸術文化教育プラットフォーム事業」による小中学校へのアウトリーチ活動を引き続き継続します。

加えて、「地域諸施設へのアウトリーチ活動や提携企画」も、昨年度以上に発展拡大し、費用負担も含め積極的に各施設への企画提案も充実していきます。地域とつながりを充実させる活動を行います。

4. 国内・地域で活動する優れた音楽団体との共催事業の実施

国内外の優れたアーティストによるリサイタル、地域のオーケストラ公演など年間20本程度実施します。従来のネットワークを生かし、ホール主催では実現が難しい幅広いジャンルの文化芸術を提供します。従来貸館で実施してきた優良公演も積極的にサポートします。若手発掘という観点からは、横浜で若手音楽家を応援するNPO法人「浜のJACK」との共催連携が実現。

『令和3年度(2021年)文化事業の全体総括』

・文化事業詳細実績等は(別紙1)公演内容詳細にて報告

◎コンサートシリーズ

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響は、緊急事態宣言下での入場制限50%実施はありました。まん延防止やその他の期間では、制限は緩和されたものの、ご来場者の感染拡大への意識は重く、全体を通して券売・実来場者では影響を受けた年になりました。海外アーティストの公演は、来日可否を判断してからの告知とし、年間ラインナップのポスター等には掲載をしませんでした。実施公演では、「中止延期」の可能性を告知しての券売となり、お客様も、感染への不安からチケット購入を控える方や空席可否の不安をおっしゃる方などが多くおりました。消毒・サーモカメラ検温・入場後の規制等を徹底して、厳しい状況下でも、できる公演は実施する姿勢で、可能な限りの自主事業を粛々と実施しました。結果として、13本開催し、フィリアのお客様に、久しぶりのフィリアの音を堪能いただけたものと思っています。
- 海外アーティストは、20本のコンサートシリーズ中の約半数9本を予定。昨年からの繰越5本・新規が4本です。結果は、7本が中止になりました。繰越5本の内、3本が中止。コンスタンチンリフシツ・マルツインディラ・アヌーナは残念ながら来日できず、実施できたフォーレ四重奏団とアンヌ・ケフェレックの2本は、今年度実施できた海外アーティスト公演の全てになっています。新規4本のベルチャ四重奏団・ハーゲン四重奏団・カニサレス(Gt)・キアロスクールQは、年度内振替等も行ったものの、結果はすべて来日ができませんでした。
- 12月のフォーレ四重奏団では、直前の11月末日での水際対策強化の発表と重なり、入国が危ぶまれましたが、企画担当や招聘元の努力により、無事入国ができました。2年ぶりの海外アーティストで、現在最高峰と呼ばれるフォーレ四重奏団の演奏には、お客さまも大変感動されていました。アーティスト側からも楽屋のホワイトボードに「Thank You!」のメッセージが残されました。
- 国内組では、2019年3月からの振替が続いた千住真理子・館野泉・岡本侑也の3公演はやっと実現。区制25周年記念公演の予定だった千住真理子のイザイ無伴奏が3度目の正直で実現しました。諏訪内晶子、仲道郁代、三浦友理枝、南紫音等の女神シリーズでも昨年からの振替も含めすべて実施しました。川口成彦は、海外在住ですが、日本人なので無事来日。そして神奈川フィルの室内楽シリーズも昨年からの繰越で実現できました。
- 共催公演は、海外アーティスト5本が中止。自主運動での神奈川フィルの室内楽と「横浜シンフォニエッタ」公演を実施。横浜シンフォニエッタは、来場者を150名程度の制限し2日間で数回にわたってのコンサートを実施しています。ハマのJACKとの連携企画が実現し、フィリアホールの若手育成事業との連携も今後期待されます。さらに予定外では、みなとみらいホール主催の横浜18区コンサートで萩原麻未さんのコンサートを実施、そして、10月にソロリサイトをを行った諏訪内晶子が音楽監督を務める「国際音楽祭NIPPON2022」のマスタークラス企画をフィリアホールで実施しました。

◎エデュケーション&コミュニティプログラム(E&C)

- エデュケーション&コミュニティ・プログラムは、ミュージックアカデミー・キッズ&ファミリー・地域コミュニティの各企画を実施しました。アカデミープログラムで予定のシュテファン・テミング&マルグレート・ケールは、来日ができず中止となりました。それ以外は感染対策や来場者制限等を実施しながらの変則開催となりました。若手育成企画の一環で、室内楽アカデミー4期生のドリームコンサートは実施ができ、加えて、過去の修了生たちによるコンサートも2回開催し、巣立った子供たちの活動支援を行いました。新たに地域に向けた新企画としてロビーコンサートを開催したり、幼児向けのプチコンサート等ではHPIに動画をアップし、無料でご覧いただける新たな施策も導入しました。
- ミュージックアカデミープログラムでは、定番のマエストロの白熱教室・山崎伸子プロデュース・輝く若手演奏家による「未来に繋ぐ室内楽」はタレイアQの出演でした。フランスのハバナサクソフォンQと日本のブルーオーロラサクソフォンQによるマスタークラスは、ハバナQが来日できず、ブルーオーロラのみの特典コンサートとなりました。若手音楽家育成企画は、フィリアホール室内楽アカデミーの第4期を開講し、オーディションを経た若き精鋭たちと海野幹雄達プロの演奏家との共演を実施。さらに関連で、過去10年近い企画からの修了生たちによるコンサートを2回開催。上述の通り、アカデミー修了生その後の活動の支援を行いました。こうした支援活動は今後も実施し、音楽家育成企画と連携をしていきます。
- キッズ&ファミリー企画では、まず夏のオープンデーを館内体験ツアーとホールでのプチコンサートの2種目で、各々定員20組という制限の中で実施しました。プチコンサートには、手作り楽器を持参してもらい、プロの打楽器奏者との共演を行い、来場された親子の方々には十分に楽しんでいただけました。

夏のファミリーコンサートは、毎年出演の慶應大学ワグネルソサエティが、コロナ禍の練習不足で出演不可能となるハプニングがあったものの、急遽指揮者の橋直貴氏が常任指揮者を務める東京室内管弦楽団が出演していただけることになりました。同楽団は、独自でも子供向けプログラムを開催されており、内容・進行共に素晴らしいファミリーコンサートになりました。

冬のファミリーコンサートは、今年度年末28日に開催。「クリスマス」とは少し違った、年末年始を意識した内容に変え、参加者と共に楽しむコンサートの開催にブラッシュアップしています。夏冬ともに集客は300人程度に限定しましたが、お申し込みも多く、盛況のうちに終了しています。

プチコンサートやワークショップ、前述のロビーコンサートなど、ホワイエでのコンサート企画も定着し、幼児とお母さんには、毎回好評を得ています。特に演奏者側も、幼児だけでなく保護者の方への癒しのひと時を意識したプログラム構成をするようになりご参加のお母さんたちからはそこへの好感度を示すお声をたくさんいただいています。

(別紙1)令和3年度(2021年)自主事業公演内容詳細

文化事業 コンサートシリーズ					
No.	出演者・公演名※回数表示はシリーズの通算回数	開催日	入場者数	備考	
土曜ソフレスシリーズ《女神との出逢い》					
1	第291回南紫音ヴァイオリン・リサイタル	9/11(土)	197	【2020.9.26から振替】・既購入者優待割引	
2	第296回諏訪内晶子無伴奏ヴァイオリン・リサイタル	10/16(土)	450		
3	第297回仲道郁代「シューマン300日の物語」第4回(最終回)	11/27(土)	354	シリーズ(最終回)	
4	第298回三浦友理枝ドビュッシー・ピアノ作品全曲演奏会第2回	1/29(土)	263		
5	第299回吉野直子&白井圭ハープ&ヴァイオリン	3/5(土)	264	動画撮影あり	
6	第290回アンヌ・ケフェレックピアノ・リサイタル	3/19(土)	204	【2020.7.11から振替】	
ウィークデーコンサートシリーズ《らんらんランチにいい音楽》					
1	第68回川口成彦フォルテピアノ	6/1(火)	436	【2020.7.18から振替】	
2	第63回岡本侑也チェロ	3/7(月)	444	【2020.3.11から振替】	
ニューイヤー・ガラ2021					
1	ニューイヤー・ガラ2022《モーツァルト饗宴》	1/15(土)	450		
フィリア・ハイムコンツェルトシリーズ2021					
1	フォーレ四重奏団	12/4(土)	202	【2020.10.10から振替】	
トーク&コンサートシリーズ【マイ・フィールド】《私の人生、私の音楽》					
1	第8回館野泉「北欧の地に生きて」	9/25(土)	259	【2020.3.29から振替】・既購入者優待割引	
神奈川フィルの名手による室内楽シリーズ《名曲の午後》					
1	第14回ベートーヴェンの「大公」	4/6(火)	363	【2020.6.13から振替】・既購入者優待割引	
特別 シリーズの該当しない公演					
1	千住真理子イザイ無伴奏ヴァイオリン・ソナタ全曲演奏会	7/24(土)	314	【2020.3.9/8.9から振替】旧区制25周年記念公演	

文化事業 エデュケーション・アカデミープログラム					
No.	出演者・公演名	※回数表示はシリーズの通算回数	開催日	入場者数	備考
ミュージックアカデミー・プログラム					
1	マエストロの白熱教室2021～指揮者・広上淳一の音楽道場～		10/10(日)	363	投げ銭収入あり
2	特別コンサート ブルーオーロラサクソフォン・カルテット		10/23(土)	253	動画撮影あり
3	山崎伸子プロデュース輝く若手演奏家による「未来に繋ぐ室内楽」Vol.5タレイア・クアルテット		11/9(火)	239	動画撮影あり
4	室内楽アカデミア第4期生(2021年度)未来にはばたくドリームコンサート2022		2/13(日)	223	
キッズ&ファミリー・プログラム …個別詳細は地域事業報告にて					
1	0歳からのキッズのためのプチ・コンサート		6/9(水)	①63・②56	
2	夏休みファミリー・オーケストラ・コンサート2021		8/7(土)	①227・②224	
3	0歳からのキッズのためのプチ・コンサート		10/1(金)	①69・②25	
4	親子のためのワンダー・キンダー・ウィンター・コンサート2021		12/28(火)	①254・②238	動画撮影あり
5	0歳からのキッズのためのプチ・コンサート		2/2(水)	157	
地域コミュニティ・プログラム …個別詳細は地域事業報告にて					
1	フィリアホール・オープンデー2021		8/6(金)	152	
2	地域に届けトロビーコンサート		10/28(木)	52	投げ銭収入あり
3	あおばカノン2022		3/11(金)	430	主催:レントの会
4	地域に届けトロビーコンサート(2021年6月)		6/9(水)	66	
5	フィリア・ジュニア合唱団コンサート		3/30(水)	45	
若手演奏家インキュベーション・プログラム2020年度採択企画					
1	未来にはばたくドリームコンサート&室内楽アカデミア修了生による「サマー・コンサート2021」		8/5(木)	167	投げ銭収入あり
2	未来にはばたくドリームコンサート&室内楽アカデミア修了生による「スプリング・コンサート2022」		3/30(水)	217	投げ銭収入あり
共催公演					
No.	出演者・公演名	※回数表示はシリーズの通算回数	開催日	入場者数	備考
神奈川フィルの名手による室内楽シリーズ《名曲の午後》 共催公演					
1	第15回「ベートーヴェンの『幽霊』」		9/3(金)	178	【2020.9.9から振替】
横浜シンフォニエッタ					
1	①若き才能とともにVol.2(12/10)②おしゃべり室内楽コンサート(12/11)		12/10(金)	①240・②100	
その他共催					
1	ハマのJACK「金の卵見つけました」		6/13(日)	150	
2	横浜18区コンサート 萩原麻未×横浜シンフォニエッタメンバー		9/14(火)	240	横浜みなとみらいホール主張公演
3	国際音楽祭NIPPON2022 諏訪内晶子ヴァイオリン・マスタークラス		3/4(金)	200	主催:ジャパン・アーツ

文化事業 コンサートシリーズで中止となった公演					
No.	出演者・公演名	※回数表示はシリーズの通算回数	シリーズ名	状況	備考
1	第249回キアロスケーロ・カルテット		女神	中止	4月から2月に振替後、中止に
2	マルツィン・ディラ ギター		ランチ	中止	【2020.9.14から振替】後に中止に
3	コンスタンチン・リフシツ「ベートーヴェンへの旅」		特別	中止	【2020.4.29から振替】
4	カニサレス(フラメンコギター)		特別	中止	
5	アヌーナ(ケルティック・コーラス)		特別	中止	【2020.12.3からの振替】後、中止に
6	ベルチャ四重奏団		ハイム	中止	
7	ハーゲン四重奏団		ハイム	中止	7月から10月に振替後、中止に
文化事業 エデュケーション・アカデミープログラム で中止となった公演					
1	シュテファン・テミング&マーガレット・ケール		アカデミー	中止	シュテファン・テミング&マーガレット・ケール

共催公演 で中止となった公演					
1	パスカル・ロジェ ピアノ		共催	中止	
2	シャルル・リシャール＝アムラン ピアノ		共催	中止	
3	アナ・ヴィドヴィチ ギター		共催	中止	
4	ヒョードル・ルディン ヴァイオリン		共催	中止	
5	ネマニヤ・ラドゥロヴィチ&ドゥーブル・サンス		共催	中止	
6	ARCUS 第11回演奏会		共催	中止	前年振替も中止に
7	Concert For KIDS		共催	中止	前年振替も中止に

II. 令和3年度 地域コミュニティの形成・社会的包摂推進への活動の確認

1. 地域コミュニティ形成への基本方針

第2期の重要テーマである「青葉区民文化センターの顔」の活動は、3年間の活動で、十分にその役割を果たしています。コロナ禍で活動の制限があった昨年度に得た経験、課題、ネットワークと地域の人財を活用し、今年度も、充実発展した活動を目指し、コロナ禍だから「できる・やるべき」活動を考えていきます。そして、来年度ホールが休館している時期にどのような活動をしていけるかにつながる基盤づくり、基礎固めをする年度にできるようにしていきます。

文化事業と連動したエデュケーション&コミュニティプログラムとして「地域との連携」を担うコミュニティプログラム企画を実施。地域連携・協働型企画では、今年度も区民企画の募集実施、地域人財の育成、地域施設や団体との連携協働企画などを実施します。若手音楽家育成では、文化事業で行う企画と地域活動への若手音楽家登用の両面で実施します。

2. 地域活動で目指す課題の設定

地域活動をするにあたって、地域の様々な課題へのアプローチを掲げ、活動内容を設定していきます。広範囲で複雑なものですが、こうした課題やテーマに沿って、様々な活動を展開していきます。アプローチしていきたい対象は以下の通りです。

★子育て世代(パパ・ママ)	★青少年(小中高)	★シニア世代	★社会的包摂を考えた人達
---------------	-----------	--------	--------------

3. 文化事業と連動する活動

●エデュケーション&コミュニティ・プログラムとの関連事業

文化事業のエデュケーション&コミュニティでは、「コミュニティ」プログラムを提供します。主にファミリーや幼児向けプログラムは、「二つの顔」が連携しあう事業活動。コロナ禍において、どうすれば安全に開催できるかを吟味精査し、何を提供し、何を感じてもらうかを考えていきます。

◎令和3年(2021年)の主要な企画

コロナ禍の感染対策、ご来場者への安心感を与えられる内容には動画配信も含めて検討していきたいと思えます。

●エデュケーション&コミュニティプログラム関係

企画・対象		目的・概要	時期等
オープンデー	ファミリー	ホールを全館使用して楽しめるイベント。地域の方にフィリアホールにお越しいただく企画。	8月
ファミリーコンサート	ファミリー	夏とクリスマスのファミリーコンサート。企画の練り直し、新しい形を模索。	夏・冬
プチコンサート	乳児・お母さん	乳幼児とお母さんが楽しみ、お母さんに「ひと時の癒し」を届ける。場所選定や広報も考えて実施	春・秋
ワークショップ	ファミリー	対象や内容を考え、「気軽に音楽に触れあう」趣旨にした企画、地域施設との連携模索。	春・秋
ジュニア合唱団	子ども達	歌の楽しさを学び、コミュニケーションを身に付け、課題をもった子達の居場所機能をめざす。	通年練習

●市民協働促進に向けた活動

企画	企画概要及び計画概要	時期等
区民企画公募・選定・協力実施	昨年度未実施企画は今年度に振替え、新企画公募は時機を見て実施予定です。	通年
地域連携事業「あおばカノン」	動画配信も検討し、ケアプラザとの連携もより明確にしたチャリティー事業にします。	2~3月予定

●若手・地域音楽家育成支援

企画	企画概要及び計画概要	時期等
若手音楽家の育成	「インキュベーション・プログラム」を継続予定。「芸術文化緊急支援プログラム」等に申請したアーティストに対する施設利用サポートという形を今年度も検討していく。	通年

●地域連携・アウトリーチ活動

地域に音楽を届けたいという趣旨のもと、地域の様々な施設や団体と連携協力。今年度も、新しい施設との連携を模索し、ネットワーク拡大、事業協力の内容などを模索。

◎令和3年(2021年)の主要な企画

STスポットアウトリーチ	STスポットと連携事業。学校と連携したコロナ対策も。STスポット以外の学校アウトリーチも検討。
地域施設アウトリーチ	区内施設と連携し地域の方に音楽を気軽に楽しんでもらうよう、多くの場所での企画を検討。
ケアプラザ等連携	地域ケアプラザ施設と順次全施設にコンサートを提供できる基盤を作りを目指したい。
地区センター連携	コロナ禍でもできること、出来る方法を検討し、動画配信も含め積極的に提唱していきたい。

●市民協働・人財育成に向けた活動

地域の人達との連携が充実。その地域の人材を育成していくことも重要な役割だと意識。

区民サポートの募集・活動	区民サポーター通年募集、ホールの仕事をお手伝い。接客・マナー研修も実施し、ノウハウ取得へ
区民企画での人材育成	区民企画者に、必要な専門的知識やノウハウの研修、地域で活動できる人材育成を。
若手音楽家の育成	文化事業「若手育成企画」とともに、自身で企画プロデュース、集客などの実践を学ぶ機会に

●市民主体の活動への支援協力サポート

★コロナ禍で、今後の活動体制を模索している団体は多いと思えます。何ができるか考え支援策を考えていきます。

ホール利用申請から本番まで、詳細な相談・アドバイスをを行います。

チケット委託公演情報を、WebサイトやSNSで公開し、「イベントカレンダー」等も含め、バックアップします。

人財育成・支援活動として、地域の方々にとっての相談窓口と人材の育成拠点として具体的な事業項目の検討を行います。

アウトリーチ活動などで、協力していただける市民団体や音楽家と連携協働して、地域とのつながりを持てる活動を支援する。

『令和3年度(2021年)の地域事業総括』

1. 青葉区民文化センターの顔としての活動: 全体総括

コロナ禍の影響でほとんど活動ができなかった前年度とは違い、Withコロナを基本に、制限のある中でも実施できる方法を目指して、各種活動を行うことができました。は地区センターや各ヶアプラザへのアウトリーチ活動も復活する中で、今まで繋がっていなかった施設にも繋がりができ、新たなネットワークが広がっています。青葉子育て拠点ラフルさんとの連携企画も実現し、今後の連携強化ができそうです。また区役所の生涯学習講座の一つにも協力参加し、地域人材育成への取組ができました。

2. エデュケーション&コミュニティープログラムでの実践

●オープンデーと夏冬のファミリーコンサート

夏のオープンデー・ファミリーコンサートは、文化事業総括でも概要を記したとおり、形を変えての実施となりました。ファミリーコンサートでは、参加対象年齢を0歳まで引き下げ、お子様連れの来場拡大につなげています。プロの室内楽団の出演となった夏は、充実した内容で実施ができ、年末28日開催の冬は新たな開催日設定として定番になるかもしれません。

●プチコンサート・ワークショップ系

プチコンサートは年3本を実施。3回とも同じ若手音楽家集団を起用し、曲目や参加する親子への関わり方も上達しています。結果として、募集を超える参加者があり、大好評の企画です。前年度末に「何かをしよう」との趣旨で始まった「ロビーコンサート」も2本実施。生の音楽を地域にという趣旨は定着していると思います。
ワークショップの一環で地域と連携する「手作り楽器を演奏しよう」は、10施設で製作し、最後のフィリアホールでの演奏会には200人を超す方が参加してくれました。

●ジュニア合唱団の活動

ジュニア合唱団の活動も、緊急事態宣言下での中止はあったものの、年間で活動は再開ができました。残念ながら感染の完全な終息が見えない状況で、前年同様3月のコンサートは関係者のみの発表会形式に縮小しました。次年度以降の運営体制見直しについても運営委員内で協議し、一定の方向を見出しています。

3. 市民協働・人材育成

●第2期新企画「区民企画募集と実施」

前年度からの繰越も含め、今年度は全ての企画が実施できずに終わりました。来年度はホールが使えないため、日の目を見ないままで終わってしまった企画になってしまいました。4年間では、「区民企画」の企画力の素晴らしさに驚かされながら、多くの人達と協働して作り上げることができた事業になりました。

●あおばカノン

あおばカノン2021は3月に実施。今年度はホワイエにて、ハンディキャップのある方の絵や作品を展示し、コンサートでも障害のあるヴァイオリニストの演奏を行っています。アートと音楽の融合という新しい在り方の試金石となりました。

●青葉区の生涯学習講座との連携

区役所の生涯学習講座・区民企画運営講座の一つ「広げよう！音楽でつながる仲間の輪<音の庭>」企画に参加協力。全5回の講座の内、1回目には文化事業と地域の各コーディネーターが講師として、5回目はリハーサル室でのコンサートでした。この企画は、「音楽イベントを実施するために必要なことを学び、音楽を通じた仲間づくりを目指す。」という内容で、まさに地域人材の育成につながるものです。ここから新しい区民企画コンサートが生まれると嬉しいと思います。

●区民サポーターの活動充実

自主コンサートも復活する中で、作業人数を限定するなどの感染対策をしながら活動を再開しました。

●若手音楽家の育成

「若手音楽家育成」として「若手インキュベーション」というタイトルでの企画は実施できませんでした。自主のエデュケーション・アカデミーの「室内楽アカデミア」との関連で、これまでアカデミア(旧ドリームを含む)を終了した若い音楽家たちの「修了生コンサート」を2回実施しました。巣立っていった人たちの今の活動支援を行っています。

●STスポット連携での学校訪問他

今年度は、STスポット関連での学校訪問は3校に行ってきました。さらにSTスポット選定に漏れてしまった2校にも独自に連絡し、訪問演奏を行っています。打合せ段階から、演奏家も積極的に協力し、学校・子供たちのニーズを組んだ企画を実施しています。

●地域の施設や団体との共同事業の実現

地区センターやヶアプラザとの連携では、今年度は数多くのアウトリーチを行うことができました。新たな連携先との協働も実現して、出演する演奏家の幅も増え、コンサートだけでなく施設への講師紹介なども実施しています。

地区センター(コミュニティハウス含む)とは今年度は多くのアウトリーチ活動が実施できました。藤が丘・大場みすずが丘の2施設とは連携企画推進で一致し、これですべての地区センターとの連携事業の展開ができることとなります。藤が丘とは年度内で企画実施はできませんでした。大場みすずが丘も2月企画は次年度に延期となりましたが、要望に応じてウクレレ講座の講師を紹介しています。

出演者には、積極的に若手音楽家を起用するなどしていますが、2月の青葉台コミュニティハウスのロビーコンサートには、N響の白井篤氏が出演してくださいました。

ヶアプラザは、前年度延期になったすすき野ヶアプラザのコンサートが3月に復活開催。また前年度に続き青葉台ヶアプラザの企画をホワイエで12月に開催しました。青葉台ヶアプラザ企画からのつながりで、あおば子育て拠点ラフルさんとの連携ができ、3月にホワイエで、ラフル10周年記念イベントを開催しています。高齢者、幼児の多いヶアプラザではまだまだコロナ禍の影響は続きそうです。

●あおば支援学校との連携事業

あおば支援学校との連携事業は継続しています。高等部1年対象の「ホール見学」高等部2名の方の職場体験も受入ました。そしてプチコンサートなどで出演している「おとみっく」は文化兵芸術による育成総合の補助金事業で3日間、「しましまのおんがくたい」はヨコハマアートナビ助成金事業で4日間の事業を実施しました。「しましまのおんがくたい」では、12月にフィリアホールに小中学部の子供達をお招きして、コンサートを実施しました。次年度も引き続き、様々な連携を模索していきます。

●中学校の職業体験受入: 今年度は、コロナ禍の影響で、1校がインタビュー形式での実施となっています。

※地域事業の詳細は別紙2にて記載します。

(別紙2) 令和3年度(2021年)地域コミュニティ事業報告

エデュケーション&コミュニティープログラム関係

●地域の子どもたち・ファミリー層に向けた活動

企画	時期等	
オープンデー	8/6	冒険ツアー1部14組 2部11組 プチコンサート1部54名 2部48名
ファミリーコンサート	8/7	夏休みファミリー・オーケストラ・コンサート
クリスマスコンサート	12/28	親子のためのワンダー・キンダー・ウィンター・コンサート(年末に開催)
地域に届け♪ロビーコンサート	6/9	ヴィオラ・ダ・ガンバ&コントラバス 出演:アリアルヒブラ 66名
	10/28	マリンバデュオ 出演:プリマ・ステラ 52名
0歳からのキッズのための プチコンサート	6/9	管楽器・打楽器演奏者 しましまのおんがくたい 1部63名 2部56名
	10/1	管楽器・打楽器演奏者 しましまのおんがくたい 1部69名 2部25名
	2/2	管楽器・打楽器演奏者 しましまのおんがくたい 1部81名 2部76名
ジュニア合唱団	練習第2・4土曜日	練習を開始 23名中学生から高校生に年齢を引き上げてのスタート
		8月~9月は緊急事態宣言の為に練習を中止、9月~は、感染予防対策をしながら練習を開始
	3/26	コンサートではなく、感染対策をして発表会に変更。 団員20名参加

●市民協働促進に向けた活動

企画・対象	時期等	
区民企画公募・ 選定・協力実施		今年は感染予防の為に実施できませんでした。
地域連携事業「あおばカノン」	3/11	青葉区内の施設と新たなネットワークを広げていく 参加人数10日90名・11日340名
	連携団体	レントの会・ボーイズクラブ・青葉区内地域ケアプラザ有志・市民団体演奏家・福祉作業所6団体・あおば支援学校・あおば地域コミュニティーテラス・國學院ボランティア学生・美しが丘小学校個別級

●若手・地域音楽家育成支援

企画・対象	時期等	
若手音楽家の育成	通年	フィリアホール室内楽アカデミア第4期(2021年度) 2/13に「ドリームコンサート」開催 詳細は自主事業報告参照

●市民協働・人財育成に向けた活動

地域事業を展開するには、地域の人達との連携が必須。その地域の人財を育成していくことも重要な役割。

企画・対象	時期等	
区民サポーター 募集・活動支援	通年	コロナウィルス感染対策をしながら活動

●地域連携、地域コミュニティに向けた活動

<横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校訪問事業>

企画・対象	時期等	
STスポットアウトリーチ		学校側とSTスポットとの打合せ後に開催する学校が決定。
荏田西小学校	11月24日	アンサンブル・ミクスト 木管4重奏
恩田小学校	10月19日	齊藤綾乃 藤本亮平 打楽器奏者
桂小学校	12月10日	どやどや楽団 打楽器奏者
フィリアアウトリーチ この2校がSTスポット以外で行った学校		
みたけ台小学校	12月7日	城所素雅 ヴァイオリン 中川さおり ピアノ
山内小学校	11月20日	齊藤綾乃 藤本亮平 打楽器奏者

<地域施設連携・コーディネート事業>

連携施設	時期等	対象施設	概要
地区センター・地域ケアプラザ	8/17	10施設連携 231名参加	フィリアホールで手作り楽器を演奏しよう
地域施設・団体連携事業	12/20	青葉台地域ケアプラザ・ラフール・その他団体	のびのび広場
	3/25	青葉区子育て拠点 ラフール	10周年記念企画「音を楽しもう」190名
地区センター・コミュニティーハウス・地域ケアプラザ連携事業	9/11	美しが丘西地区センター	ロビーコンサート 城所素雅 25名
	8/2	山内地区センター	ロビーコンサート 齊藤直樹 25名
	12/18	みたけ台コミュニティーハウス	ロビーコンサート
	12/17	山内地区センター	ロビーコンサート ジョゼ
	1/29	山内地区センター	子ども向け事業 三曲協会
	2/18	青葉台コミュニティーハウス	ロビーコンサート
	2/22	青葉台コミュニティーハウス	クラシックについての講座
	2月～3月	大場みすず地区センター	ウクレレ講座 3回講座
	5月に延期	大場みすず地区センター	30周年記念 コンサート 5月に延期
	3/12	若草台地区センター	30周年記念 ロビーコンサート
	3/18	すすき野地域ケアプラザ	ロビーコンサート
	3/25	子育て拠点ラフール	10周年記念 イベント
	2/26	奈良地区センター	フルート演奏
	あおば支援学校	秋 3回公演	教育プログラム おとみつく
秋 4回公演		教育プログラム しましまのおんがくたい	ヨコハマアートナビ 助成金
11/5		職業体験	
1/18		ホール見学	

令和3年度(2021年度)施設運営 報告総括

Ⅲ. 施設運営に関する活動の確認

1. 施設運営の基本方針

「多くの方々に成果発表の場、日々練習の場、人々が集える場としてご利用いただき、喜んでいただける施設」であることは変わりない。コロナ禍が継続する前提に立ち、ガイドラインや行政からの指示を遵守して、制約の中でのご利用をして頂く。ご利用本番まで、その時点の制約条件を理解の上で、感染対策等を含め一定のルールをお守りいただく。

1. 適正な施設運営管理

◎ 公平公正な施設利用の原則・ルールの徹底

○ 公平公正な施設運営。「利用の手引き」や各種「利用案内」も、内容の改編加筆修正を繰り返し、利用者へ配布。ルールを守って、皆様が気持ちよくご利用いただける施設運営を行う。

○ コロナ禍継続の中「3密回避」などの基本は継続。各種ガイドラインやその時点での横浜市ガイドラインに沿って対応します。

○ 適切な利用料金と利用区分の設定による運営。料金納入や返還等の基本事項は利用要綱に明記、利用者に適宜案内。

○ 利用料金割引サービスとして、一定条件の下でリハーサル利用、練習利用される方への30%割引実施。

○ 利用状況の適正把握のため、利用時の利用人数を報告してもらう。ホールでは入場者数も把握して報告励行。

2. よりご利用いただくための運営努力

コロナ継続の中、各種制約や基本ルール順守を前提に、ご利用いただくための環境整備や各種対応方法を検討していく。

◎ 稼働促進策

○ 諸室の予約状況の広報徹底：HPから空室状況が確認できるよう変更。空室状況をロビー等に週単位で掲示

○ 「音楽」を介在させた内容は維持、利用可能形態には柔軟に対応し、区民企画や地域連携事業での活用幅を拡充。

○ 抽選後のホール空き日を利用した練習利用促進。ピアニストの夢・カゲレンの企画継続。

○ コロナで、動画配信や録音録画の希望あり。ライブ配信は設備対応可能。録音録画に対応し、各種補助金申請対象事業には利用料等の減免も検討し、音楽家の活動支援に繋げる。

○ 夕夜間利用促進策としての定期利用施策継続。非営利の地域団体活動支援策とも連動

3. ご利用満足度向上のために

◎ 意見要望ヒアリングとその後のPDCAサイクル確立、ご利用者の声を踏まえ、満足度向上に取り組む。

○ ご意見ご要望の収集とPDCA

ご利用状況の報告用紙裏面に、自由記入欄を設け、ご意見ご要望を任意提出していただく。収集したご意見ご要望は、定期的に内容を検討し、対応方針を検討の上、回答を掲示。四半期ごとに収集したご意見ご要望をモニタリング報告。

◎ 附帯設備や備品の充実

○ 利用者の要望を聞き、諸室の備品・附帯設備の改善を進め、購入ではなく既存備品の修理改善等も検討。

◎ ご利用者へのサポートの充実

○ 利用申請から本番まで、担当スタッフによるサポート体制を検証。本番を、より上質なものに仕上げるような提案を実行。

○ 利用団体への支援策

HP上の公演カレンダーで団体やチラシへのリンクやイベントカレンダーでの広報などを行っている。今年度は、どのような内容が「支援策」となり、より地域の活動を応援できるかを改めて考え、出来るものを実現させていく。

4. 広報・プロモーション活動、情報提供

HPやSNSの利用を強化していくが、SNSを普段利用しない層に対しても情報が行き渡るよう、紙媒体(新聞・チラシ・地域情報誌・ダイレクトメール・イベントカレンダー・会報誌)も充実させます。

◎ 広報・プロモーション活動の新たな試み

○ 会報誌の年4回発行。区内の各施設等へ配布。公演への興味喚起、音楽への興味喚起、施設利用や地域事業の情報を掲載。認知度向上、来場促進。

○ 全面リニューアルしたHPの更なる充実、費用対効果の高い改編策を検討実施。YouTubeアカウントも取得し、今後は動画配信、動画閲覧を積極化していく。コロナ禍で利用条件、公演開催状況等の情報発信に活躍しており、ネット利用者の増加に合わせて、施設告知、券売情報の発信、来場促進等のHP活用を新たな情報発信のツールとして定着させる。

○ 公演情報に特化したイベントカレンダーは、常にブラッシュアップ。

○ チケット予約システムは徐々に利用増。Web先行予約での座席指定可能、セット券や学生券の24時間Web予約。改善部分の告知徹底をし、わかりにくいWeb予約の方法の周知徹底やご案内の徹底により利用促進を向上。

メールマガジンやTwitterの活用は、その効果が拡大。頻度内容を常に検証し、充実を図る。Facebook等の他のSNS利用拡大も、再度検討して一定の方向性を定める。SNS活用においては、人権侵害防止や個人情報保護等に細心の注意を払い適切な運用を実施。

6. 年間利用率目標

ホール	69%	自主事業の充実と、地域連携事業での活用、空き枠利用のを促進します。
リハーサル室	76%	現在、平均稼働率は90%近くであり、ご利用者様から高い評価を頂けております。今年度は、リハーサル室・練習室なども、自主事業での効果的な利用を高める等、より安定した諸室の利用率を目指す様々な取り組みを行ってまいります。
練習室1	82%	
練習室2	83%	
練習室3	84%	

『令和3年度(2021年)の施設運営に関する総括』

令和3年(2021年)の施設運営も、年間通し利用制限・時間短縮、利用時の各種感染防止対策等の対応で終始しました。2年目となり、ご利用者の皆様にも感染対策等の意識は徹底されてきており、年間通して大きな混乱やクレーム発生につながらなかったと思います。横浜市のガイドラインをご利用者には逐次案内をし、より分かりやすく、見やすくするよう独自にアレンジし、HP掲示・館内掲示を行ってきました。

◎ 公平公正な施設利用の原則・ルール徹底

- 緊急事態宣言発令時の「新規予約一斉停止」そしてその後の「一斉予約受付」という事態に対しても、システム上での予約停止・再開後の開放などを適宜実施し、問題なく対応しています。ご利用者側も、日別で予約開始日が異なる状況でも大きな混乱もなく、比較的穏やかに予約が受けられています。非抽選に対するご意見等はほとんどありませんでした。
- 返金対応もその都度対応し、今年度もクレームはほとんどなく実施ができています。当日未利用だった方にも、後日「コロナ禍での中止」をお申し出の方には、適宜公平に対応しています。

◎ 稼働促進策＝令和3年度も、稼働制限等への対応

- 開館時間21時制限が長く続いた年度でしたが、ここでもコロナ禍2年目ということもあり、大きな混乱はありませんでした。平時は夜の利用が多い方が夕方コマを利用したりする傾向もみられ、結果として夕方までの4コマが90%以上の稼働を示す月が多くなりました。
- 閉館時間が 20時・21時・22時と変動していくことへの対応が多かった年でした。月次の稼働状況等を適宜ビル側と協議し、エレベーター稼働・出口の開放等を臨機応変に対応しています。
ホール客席への使用不可表示の設置継続、リハ室の最大利用者を実際に測定しての人数設定、舞台上での適正人数の検証等、利用人数制限は継続し、更なる徹底をしています。
- リハーサル室・練習室ロビーへの消毒液設置、利用者に消毒剤等を渡し、利用後の消毒依頼、ホール利用者にも入場時の消毒に加え、利用後ホール内客席消毒も依頼。
- 空き日利用のホールでのピアニストの夢等は復活させ、新たにスタインウェイを使用しての開催も実施。料金は増額しましたが、すぐに予約が埋まり、好評な企画となっています。

◎ 意見要望ヒアリングとその後のPDCAサイクル確立

- 利用状況報告書の裏面での意見収集は、実施していますが、今年度もほとんど記入がありませんでした。利用状況報告には利用者名を記載しなければならないため、「直接的なクレームやご意見」の提出に躊躇されている方もいるのではないかと考え、別の方策も検討していきたいと思っています。

◎ 広報・プロモーション活動の新たな試み

- イベントカレンダーは、定期発行は続けましたが、会報誌は、今年度は発行見送りにしました。
- HPの活用では、ガイドラインの掲示・利用状況の告知、公演情報とそれに伴うチケット扱い告知も適宜更新。「詳しくはHPをご覧ください」というSNSも頻繁に出しています。こうした緊急時にはネット環境による告知が威力を発揮したと思います。
特に、今年度は、海外からのアーティストの公演は、来日可否を見極めてからの開催告知となり、HP/SNSでの広報が活躍しました。残念ながら、告知が直前になることが多く、販促面では課題が残る年になりました。
コロナ禍で、HPからのこまめな情報発信、詳細情報の提供の必要性が高まっていく一方、ネット環境に不慣れな方への情報提供の方法や紙媒体の有効活用は必要です。郵送での案内文発送、電話によるアプローチを行いました。
- チケット予約も、直前販売や人数制限等の状況に応じて、「先行予約」をせず一般販売のみになる場合があります。
- Twitter発信は、公演の変動を逐次発信、更に利用制限等の情報も発信しました。Facebook等の新規媒体の検討はできませんでした。
- FreeWifiの利用促進と動画配信やオンラインでの練習等への利用拡大を見据えて、新たにアクセスポイントの増加と対応容量の増加を行いました。

年間稼働率実績

	目標	実績	(参)上期	(参)下期	コメント
ホール	69%	69.4%	68.7%	70.0%	結果として、夜間枠での公演は少なかった。
リハーサル室	76%	81.2%	74.4%	88.3%	時間制限解除後は夜が復活しつつある。
練習室1	82%	79.8%	74.4%	85.6%	時間制限解除後は夜が復活しつつある。
練習室2	83%	80.5%	76.2%	85.1%	時間制限解除後は夜が復活しつつある。
練習室3	84%	73.1%	75.3%	70.9%	時間制限解除後は夜が復活しつつある。

令和3年度(2021年度)施設管理 報告総括

IV. 令和3年度 施設管理への活動の確認

施設及び設備の維持保全及び管理

「総合的なマネジメント力」を発揮し、清掃・衛生管理・保守点検などの業務を的確・スムーズに行い、利用者に安全・安心でホスピタリティあふれた快適な施設空間を提供。不具合箇所の適宜必要な修繕、経年劣化に対処し、運営上支障のある部分の修繕、取替を実行。支出は適切な管理の下、適切費用で効果が上がる方法を模索。

2022年度天井脱落対策工事に関して、今年度は実施設計と工事計画策定。併せて、舞台設備・音響照明設備の改修改善内容の検討を行い、同時期実施計画と費用を確定する。別に一般修繕予算での改修項目案も作成します。

1. 日常点検と予防保全

予防保全を実現するために、日々使用時の点検(日常点検)と定期的な専門会社による点検(定期点検)を確実に実施し、点検内容を確認・検証することで修繕の必要性を判断。

◎舞台設備保守

年間定期保守計画(別表2参照)を作成し、各所機材の定期保守を実施。定期保守での不具合や修繕箇所等は、適宜内容を判断し必要な対応を実行。経年劣化が進み、不具合発生リスクが増加、緊急対応は適宜実施し、メンテナンスを強化

◎小破修繕の考え方

経年劣化部分の洗い出し状況調査実施。2022年天井工事実施に合わせ実施する基本計画策定。費用を有効的に使用し「安全快適」な施設環境を維持。比較的高額になっており、全面交換が必要な場合は新規リース等も視野に入れ対応。

◎光熱水費について

「光熱水費」については、LED化を進めており、今年度も上記小破修繕の中で、積極的に取り組んでいきます。節電節水への取り組みはより効果的な方法を模索していきます。

2. 清掃、美観管理業務の方針

美観を維持し利用者に不快感を与えることのないようにする。適宜必要な薬剤や清掃用具を適切に使用して清掃を実施。

3. 備品管理

備品台帳により、備品及びリース品を管理。ホール備品の貸出及び収納の管理を徹底。利用者への貸出返還の管理徹底。

4. 防火防災・防犯への取組み

● 非常時対応マニュアルの整備

共同防火管理体制下、緊急時は所定の指示に基づき行動。青葉区民文化センターとしての「非常時対応マニュアル」を整備。防犯対策については、ビル警備保安体制との連携を密にし、適宜適切な対応を心がけます。

5. 運営組織の構造：少数精鋭による総合力を発揮する人材の配置

●少数精鋭の「フィリアスタッフ」

親切丁寧な対応体制最優先。事務所スタッフは責任者を含む8名、舞台スタッフは3名で構成。共同事業体各社のスタッフ全員で、一体感を生み、少数精鋭の「フィリアスタッフ」として機能し、ご利用者へのサービス向上、より良い接遇をする。

●スタッフを対象とした各種の研修・ミーティング

研修やミーティングにより課題の共有、能力のブラッシュアップ。ミーティングは適宜実施し、意見交換、課題解決の模索等を行う。基本の接遇、クレーム対応、高齢者対応等のテーマに沿った研修を適宜実施し、区民サポーターにも参加してもらう。

『令和3年度(2021年) 施設管理活動の総括』

1. 日常点検と予防保全・小破修繕

○日常点検、定期保守は適宜適切に実施し、経年劣化が進む諸々の問題にも適切に対応しています。

日常点検・定期保守の中で顕在化した劣化部品については、その都度こまめに修理回収を行っています。

照明・音響機器の劣化修理、スイッチ類の交換、各所の鍵の修理等を実施しています。

○小破修繕での対応

小破修繕では、天井改修工事前にホワイエの壁面や間接照明系の器具を一斉にLED化しています。ハロゲン球の使用箇所が一気に減り、電力量削減に寄与していると思います。男子小便器の漏水や一部全熱交換器の不具合などは、部品等がすでに製造されておらず、新規交換になるため次年度以降に先送りしました。

※定期保守詳細は別紙3・修繕詳細報告は別紙4・光熱費詳細は別紙5にてまとめ

2. 清掃、美観管理業務の方針

日常清掃は委託業者と連携して適宜実施しています。代表企業による、年1回清掃のインスペクションはコロナ感染拡大のため中止にしました。日常清掃のアドバイスや必要な薬剤等の指摘を行い、更なる美化促進に努めています。コロナ感染対応として日常の清掃の中でもアルコール消毒を実施しています。天井工事中は、ホール系の清掃は対象外とします。

3. 備品管理

○備品台帳は適切に管理しています。「備品」の内容精査、消耗備品に該当する内容の削除検討などを行いました。確認できた備品にはシールを貼付しました。

4. 防火防災・防犯への取組み

○大規模災害の発生はなく、安全な施設環境を維持することができました。多発する地震にも適切に対応できています。

○防犯対応は、ビル警備との連携を強化しており、不審者等の対応も連携しています。

5. 運営組織：少数精鋭で総合力を発揮する人材の配置

○責任者を含む8名、舞台スタッフは基本3名。共同事業体各社間の連携はさらに強化されており、担当間での連絡調整は格段に行っています。情報共有のため、新たなシステム(マイクロソフトBOX)による資料等の共有を行っています。

○カウンタースタッフやレセプションの研修や区民サポーターを対象とした研修は、コロナ禍のため実施していません。一方、コロナ対応としての日常対応の方法、利用施設の消毒、公演時の入館方法など、すべての業務に渡り、「消毒・検温・換気励行・3密対策」などのマニュアルを見直し、実行しています。

(別紙3) 令和3年度(2021.年)施設管理・施設運営実施詳細

1. 維持管理年間実施状況

NO	実施年月日	実施内容	業者名	対応箇所	点検結果等
1	4月22日	ヤマハピアノ調律	ヤマハ	リハーサル室・楽屋3	良好
2	5月17日	ヤマハピアノ調律	ヤマハ	リハーサル室・練習室2・3	良好
3	5月17日	ヤマハピアノ調律	ヤマハ	ホールグランドピアノ	良好
4	5月17日	舞台設備定期点検	三精	ホール	特になし
5	6月15日	ヤマハピアノ調律	ヤマハ	リハーサル室・楽屋3	良好
6	7月19日	ヤマハピアノ調律	ヤマハ	リハーサル室・練習室2・3	良好
7	8月13日	ヤマハピアノ定期保守	ヤマハ	ホールグランドピアノリハーサル室・楽屋3	定期保守・調律
8	9月6日	ヤマハピアノ調律	ヤマハ	リハーサル室・練習室2・3	良好
9	9月6日	舞台設備定期点検	三精	ホール	特になし
10	9月21日	舞台照明定期点検	東芝	ホール	特になし
11	9月27日	舞台照明定期点検	剣プロダクション	ホール	特になし
12	10月18日	ヤマハピアノ調律	ヤマハ	リハーサル室・楽屋3	良好
13	10月19日	スタインウェイ1号	松尾楽器	良好	定期保守・調律
14	11月16日	ヤマハピアノ調律	ヤマハ	ホールグランドピアノ	良好
15	11月16日	ヤマハピアノ調律	ヤマハ	リハーサル室・練習室2・3	良好
16	12月6日	ヤマハピアノ調律	ヤマハ	リハーサル室・楽屋3	良好
17	1月17日	ヤマハピアノ調律	ヤマハ	リハーサル室・練習室2・3	良好
18	1月17日	舞台設備定期点検	三精	ホール	特になし
19	1月25日	スタインウェイ2号	松尾楽器	良好	定期保守・調律
20	2月14日	ヤマハピアノ調律	ヤマハ	リハーサル室・楽屋3	良好
21	2月14日	ヤマハピアノ調律	ヤマハ	ホールグランドピアノ	良好
22	2月14日	舞台照明定期点検	東芝	ホール	特になし
23	2月15日	舞台照明定期点検	剣プロダクション	ホール	特になし
24	2月22日	舞台音響定期点検	ヤマハサウンド	ホール	特になし
25	3月14日	ヤマハピアノ調律	ヤマハ	リハーサル室・楽屋3	良好

※スタインウェイピアノは、使用時に調律必須(施設利用者負担)・自主は管理者負担

※ヤマハグランドピアノは、使用時の調律は任意。管理者にて、定期保守以外に3回調律実施

2. 清掃美化・環境管理 年間実施状況

区分	実施内容	実施状況	対応箇所	点検結果等
日常	日常清掃業務	毎日	全室	
定期	床洗浄・ワックス塗布	1回/3ヶ月	舞台袖・楽屋・リハ室等	良好
	カーペット洗浄	1回/年	ホワイエ・楽屋・練習室	一部経年劣化
	窓ガラス(内面)	6回/年	ホワイエ	良好
環境管理	ホール環境測定	4回/年	全室の空調・温度測定	良好
	照度測定	2回/年	ホール内照度測定	良好

※ビル法定点検・測定及び防火対象物点検等はビル側にて実施。

3. 研修・ミーティング等 実施状況

研修名	主催者	実施日	対象者()内は参加者数
消防訓練	東急スクエア	6月・11月	事務所勤務者 (1)
災害時安否確認訓練(mail)	東急コミュニティー	3ヵ月毎	事務所・カウンタースタッフ (15)
コンプライアンス教育研修(テキスト)	東急コミュニティー	毎月	事務所・カウンタースタッフ (15)
個人情報保護研修	東急コミュニティー	6月・11月	事務所勤務者

(別紙4) 令和3年度(2021年) 工事・修繕報告書

施設名 青葉区民文化センター

金額は税抜き

NO	工事・修繕期間	工事・修繕内容	金額(円)	業者名
1	4月21日	楽屋トイレ点検	5,870	ホームシステム(株)
2	6月16日	フィリアホール客席天井照明配線修理工事	99,000	東急プロパティマネジメント
3	7月14日	ホール照明用ソケット	6,600	東芝ライテック(株)
4	9月7日	電源ブレーカー	12,000	東急プロパティマネジメント(株)
5	9月22日	スプリッター取付	62,000	(株)剣プロダクションサービス
6	10月27日	ピアノ張弦・調律料	24,000	(株)松尾楽器商会
7	11月17日	練習室3照明スイッチ交換	10,000	東急プロパティマネジメント(株)
8	1月16日	バルコニー扉鍵修理	24,300	青葉台ロック
9	1月20日	各室合鍵作成	15,400	青葉台ロック
10	2月1日	リハーサル室・練習室ロビー感知機交換	38,000	東急プロパティマネジメント(株)
11	2月28日	ホワイエ照明LED化	2,200,000	東急Re・デザイン
12	2月28日	舞台照明管球交換	65,800	神奈川共立
13	3月20日	yamahaスピーカー修理	13,000	ヤマハサウンドシステム
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
	年間合計		2,575,970	

(別紙5) 令和3年度(2021年) 光熱水使用量・使用料

施設名 青葉区民文化センター

上段:実績 下段:前年比	使用量		使用料(円)				
	電気(kwh)	水道(m ³)	電気	単価	水道	単価	計
4月	26,813	81	504,620	18.82	63,602	785.22	568,222
前年比	265%	169%	215%	81%	172%	102%	209%
5月	30,739	95	583,733	18.99	72,213	760.14	655,946
前年比	336%	202%	280%	83%	213%	105%	270%
6月	31,336	90	603,218	19.25	64,860	720.67	668,078
前年比	140%	161%	134%	96%	163%	101%	137%
7月	44,006	92	878,799	19.97	67,523	734.0	946,322
前年比	151%	148%	148%	98%	151%	102%	148%
8月	49,175	106	977,599	19.88	78,627	741.8	1,056,226
前年比	107%	145%	107%	100%	154%	106%	109%
9月	32,380	97	674,799	21	72,142	743.7	746,941
前年比	97%	129%	103%	106%	143%	111%	106%
上期	214,449	561	4,222,768	19.63	418,967	747.58	4,641,735
前年比	142.8%	155.4%	138.1%	93%	163.0%	104%	140.1%
10月	31,559	100	642,541	20	78,749	787.5	721,290
前年比	115%	118%	127%	111%	124%	105%	126%
11月	28,851	93	613,372	21.3	75,320	809.9	688,692
前年比	107%	106%	124%	115%	113%	107%	123%
12月	32,988	98	706,273	21.4	82,787	844.8	789,060
前年比	96%	107%	115%	120%	115%	108%	115%
1月	36,143	91	793,338	22.0	77,331	849.8	870,669
前年比	114%	126%	139%	122%	134%	106%	139%
2月	31,651	82	748,229	23.6	69,427	846.7	817,656
前年比	105%	105%	133%	127%	113%	107%	131%
3月	35,079	105	836,984	23.9	87,008	828.7	923,992
前年比	119%	146%	156%	131%	153%	105%	155%
下期	196,271	569	4,340,737	22.08	470,622	827.88	4,811,359
	108.9%	116.8%	132.1%	121%	124.4%	106%	131.3%
計	410,720	1,130	8,563,505	20.85	889,589	787.73	9,453,094
前年比	124.3%	133.3%	135.0%	106.3%	140.0%	105.4%	135.4%

令和3年度(2021年) 「青葉区民文化センター(フィリアホール)」 収支予算書及び報告書 決算

収入の部							(税込、単位：円)
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)		説明
指定管理料	151,978,000		151,978,000	151,978,000	0	100.0%	
利用料金収入	24,847,000		24,847,000	25,042,190	△ 195,190	100.8%	ホールは予算増・夜間枠利用停止時も昼間帯は90%稼働
自主事業(指定管理料充当の自主事業)収入	47,990,000		47,990,000	26,353,864	21,636,136	54.9%	コロナ禍・海外組公演はほとんど中止・共催もほとんど中止
自主事業収入			0				
横浜市による運営支援				4,371,512	△ 4,371,512		新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた横浜市による運営支援
雑入	4,359,000	0	4,359,000	3,123,055	1,235,945	71.6%	
印刷代	78,000		78,000	50,070	27,930	64.2%	コピー利用減
自動販売機手数料	390,000		390,000	280,606	109,394	72.0%	リハ・練ロビー利用減・情報コーナー利用停止による減
駐車場利用料金収入			0				
その他()	3,891,000		3,891,000	2,792,379	1,098,621	71.8%	バーカウンター営業できず。貸館委託業務なし
収入合計	229,174,000	0	229,174,000	210,868,621	18,305,379	92.0%	
支出の部							
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)		説明
人件費	86,494,000	0	86,494,000	86,494,000	0	100.0%	
給与・賞金	73,807,000		73,807,000	73,807,000	0	100.0%	人件費給与
社会保険料	12,687,000		12,687,000	12,687,000	0	100.0%	上記給与との法定比率
通勤手当	0		0	0	0		
健康診断費			0	0	0		
勤労者福祉共済掛金			0	0	0		
退職給付引当金繰入額			0	0	0		
事務費	10,315,000	0	10,315,000	8,550,219	1,764,781	82.9%	
旅費	2,634,000		2,634,000	2,009,576	624,424	76.3%	通勤費減(経路変更等)・交通費減(バイト・レセプションの減)
消耗品費	1,228,000		1,228,000	1,174,564	53,436	95.6%	クリーニング代減、通常消耗品(感染対策関連)増
会議賄い費			0	0	0		
印刷製本費	705,000		705,000	332,113	372,887	47.1%	コピー使用料減(公演中止等の運動)
通信費	2,208,000		2,208,000	1,734,180	473,820	78.5%	電話・郵送料予算並、運搬費(メール便等)減、携帯電話1台増
使用料及び賃借料	0		0	0	0		
横浜市への支払分			0	0	0		
その他			0	0	0		
備品購入費	300,000		300,000	460,722	△ 160,722	153.6%	自前の動画配信機材購入・コンサート用ワイヤレスヘッドマイク
図書購入費	31,000		31,000	20,885	10,115	67.4%	図書購入予算通り
施設賠償責任保険	96,000		96,000	43,470	52,530	45.3%	損害保険料：年払い施設賠償・イベント関連保険未加入
職員等研修費			0	0	0		
振込手数料			0	0	0		
リース料	2,513,000		2,513,000	2,525,670	△ 12,670	100.5%	各種リース：予算並
手数料	600,000		600,000	249,039	350,961	41.5%	公演中止によるチケット販売減
地域協力費			0	0	0		
事業費	54,246,000	0	54,246,000	38,777,077	15,468,923	71.5%	
自主事業(指定管理料充当の自主事業)費	49,911,000		49,911,000	35,051,785	14,859,215	70.2%	中止による出演料、プログラム・チラシ等の減、動画撮影費用増
自主事業費	4,335,000		4,335,000	3,725,292	609,708	85.9%	HP改良費用未発生
管理費	56,896,000	0	56,896,000	57,172,064	△ 276,064	100.5%	
光熱水費	8,890,000	0	8,890,000	9,453,094	△ 563,094	106.3%	
電気料金	7,908,000		7,908,000	8,563,505	△ 655,505	108.3%	2019実績(予算値)より、使用量・単価共に増
ガス料金	0		0	0	0		該当無し
水道料金	982,000		982,000	889,589	92,411	90.6%	2019実績(予算値)より、使用量・単価共に現
清掃費	3,105,000		3,105,000	3,102,000	3,000	99.9%	専用清掃(日常・定期)予定通り
修繕費	3,000,000		3,000,000	2,575,970	424,030	85.9%	修繕費：2月にホワイエ照明LED化(2200千円)
機械警備費			0	0	0		
設備保全費	3,501,000	0	3,501,000	3,641,000	△ 140,000	104.0%	
空調衛生設備保守	221,000		221,000	388,000	△ 167,000	175.6%	全熱交換器(排気用)の点検調整実施分増
消防設備保守	48,000		48,000	23,000	25,000	47.9%	防災関連修繕未発生
電気設備保守	0		0	0	0		
害虫駆除清掃保守	22,000		22,000	20,000	2,000	90.9%	各種測定実施
駐車場設備保全費	0		0	0	0		
その他保全費	3,210,000		3,210,000	3,210,000	0	100.0%	舞台設備保守
共益費	38,400,000		38,400,000	38,400,000	0	100.0%	共益負担金
公租公課	13,026,000	0	13,026,000	11,340,200	1,685,800	87.1%	
事業所税			0	0	0		
消費税	12,966,000		12,966,000	11,304,000	1,662,000	87.2%	消費税相当分：費用減に伴う減
印紙税	60,000		60,000	36,200	23,800	60.3%	公演減による契約書印紙発生減
その他()			0	0	0		
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	8,197,000	0	8,197,000	8,535,061	△ 338,061	104.1%	
本部分	6,881,000		6,881,000	6,881,000	0	100.0%	本社経費分(固定金額)
当該施設分	1,316,000		1,316,000	1,654,061	△ 338,061	125.7%	事務経費増：複合機更新によるリース料増・倉庫整理時の産廃費用
二一三対応費			0	0	0		
支出合計	229,174,000	0	229,174,000	210,868,621	18,305,379	92.0%	
差引	0	0	0	0	0		
自主事業費収入	0		47,990,000	26,353,864			
自主事業費支出	0		54,246,000	38,777,077			
自主事業収支	0		△ 6,256,000	△ 12,423,213			
管理許可・目的外使用許可収入							
管理許可・目的外使用許可支出							
管理許可・目的外使用許可収支							